

令和8年5月16日

令和8年度 学校運営協議会実施報告書

協議会名		大田区立小池小学校 第二回学校運営協議会	
日時		令和8年5月16日（土） 09：30～10：20	
場所		小池小学校 校長室	
出席者	委員	前川 忠成、田中 英雄、月居 利久、赤澤 三希子、齋藤 信、坂本 典子、山田 英、青木 研作、横山 圭介	
	委員以外	副校長 神戸大石	
議題		(1) 児童の様子と教職員の指導について (2) 学校公開の参観(体育・健康教育授業地区公開講座) (3) コミュニティ・スクールを生かした教育活動について	
協議内容 要旨		協議結果	(1) 児童の様子と教職員の指導について、説明した。 (2) 学校公開の参観(体育・健康教育授業地区公開講座) について説明した。 (3) コミュニティ・スクールを生かした教育活動について説明をした。
		意見概要	(1) 児童の様子と教職員の指導について ・校長より、以下のように説明した。 ① 児童の様子 ・GW明けの欠席者もほとんどいなく元気に学習を進めている。 ・一部に登校渋りの児童もいるので丁寧に関わっていく。 ② 教職員の指導について ・R8年度の学年の組み方では、昨年度から継続する教員を配置するとともに、教員の経験を考慮した安定した配置となっている。 ・委員より、時間講師・都費・区費のSCについての質問があった。 ・校長より、会計年度任用職員等、働き方改革に応じて人員を増加させていると説明した。 (2) 学校公開の参観(体育・健康教育授業地区公開講座) ・委員より公開講座のアンケートは、保護者からの意見を反映しているかについての質問があった。 ・保護者(低学年・高学年)によって聞きたい内容は違うのではないかとの意見があった。 ・校長より、昨年度、学校評価等の保護者等の意見を反映させているが、電子アンケートにしているが回収率は低いと説明した。 (2) コミュニティ・スクールを生かした教育活動について 副校長から以下のように説明をした。 ・「社会に開かれた教育課程」の実現のためのコミュニティ・スクールと

		地域学校協働活動の一体的推進(文部科学省)とスマイルサポートこいけの年間スケジュールの説明 ・補足説明…PDCAのDの部分についてはすでに実施をしている。キャリア教育を充実させていきたい。(校長) ○委員より以下のように意見があった。 ・PTAとしてのキャリア教育を行っていききたい。例えば毎月第三水曜日に30分ほど設定をして行うこともできる。主体的・対話的で深い学びにつながるキャリア教育につなげていきたい。児童の夢を育ませたい。 ・大工になりたいという児童が多い。今、職員不足であり、建築等のキャリア教育を行い、大工を目指す児童を増やしていきたい。 ○校長より以下のように説明した。 ・夏わくの講座でキャリア教育の講座を設けてもよい。 ・「～をしてみたい」という興味・関心を高めていくことが必要ではないか。 ・おおたの未来づくりの「ごっこ遊び」のように、職業という切り口から多くを学ぶことができる。学校の教員以外の大人と多く関わってほしい。
協議資料	① 令和8年度 小池小学校 教職員名簿 ② 学校公開日 学習内容のお知らせ ③ 「社会に開かれた教育課程」の実現のためのコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 ④ スマイルサポートこいけ 年間スケジュール ⑤ 令和8年度 大田区立小池小学校 学校運営協議会委員	
備考	傍聴者：0名（内訳：0名）	